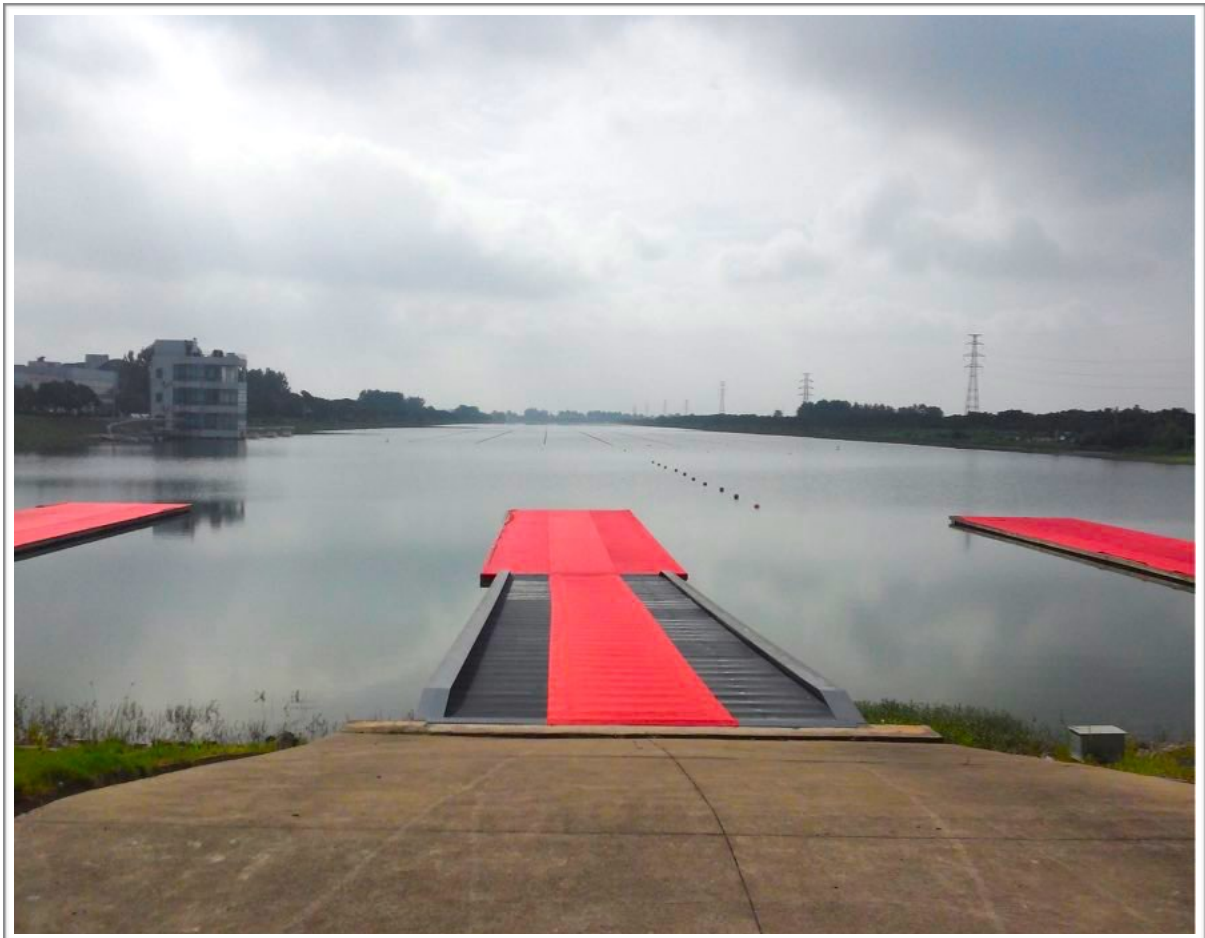


U19日本代表・武漢日記 (1)



コースの様子

6月30日(火)

成田空港を10時出発、上海へ
現地時間12時20分上海到着。15時15分上海発、武漢へ
17時10分武漢着。マイクロバスにて宿まで移動。

2時間ほどバスに揺られながら、時折、バツシングやクラクションを鳴らしながら猛スピードで移動。高速道路から見える風景は高層ビルが立ち並び、賑わいも見られた。しかし、建設中のマンションが並ぶが、途中で廃墟になっているような建物が多

く並んでいた。道を間違えたのか、途中でUターンもあり、中々長いドライブであった。

到着後すぐに夕食(20時頃)。ウズベキスタンの教訓を生かし、生ものには一切手を付けず食事。油も気にはなったが、火を通してある物を食べた。その中、八木先生は生野菜に手をだし、「いけるいける」と言いながらおいしそうに食べていました。大丈夫かもしれませんが、上機嫌でした。

7月1日(水)

朝食を7時に摂って、8時から会場に移動。到着後すぐに借艇の確認。中国などはフィリッピ、インドなどは新艇のスイフト。

日本はくじ引きで借艇決め。男子ダブルスカルはエンパのウイング(75kg～90kg設定)、女子ダブルスカルはエンパのパイブリガー(70kg～85kg設定)、男女シングルスカル中国製?を各自リギング。

オールもレンタルのため、捻じれもひどく八木先生に細かく測っていただき、日本から持ってきたブツシュで対応。設定体重が重いために高さが出ない。スイフトのガルスがいたので、いろいろと細かい部品をお願いした。

午前中はリギング確認で終了。気温が32℃くらいまであり、非常に暑い。午後のトレーニングではまず、リギング調整。吉田選手のシングルが90kg設定で大きすぎるため、ガルスさんにスイフト(60kg～65kg)設定のシングルを借艇し、久保選手のシングルが17kgほどあったため、吉田選手の艇と交換。女子のダブルスカルはスペーサーを入れて高さ調整とコロが割れていたため、スイフトから購入した。1時間ほどリギング調整に時間をかけ、2～3ラウンドのトレーニングで終了。

コースのコンディションは非常に良く、ブイもビシツと真っ直ぐに入っている。コースも伴走もでき、清水先生がランニングで1周できることを確認。本日はリギング調整で終了した。食事も毎日変化のあるメニューで炒め物や煮物などが多い。明日は午前午後とトレーニングを計画。



左上：リギングする横田選手（唐津東高校）
左下：トレーニングセンター
右上：オールの調整
右下：艇置き場



TrainingするLW2x 横田選手（唐津東高校）と高野選手（日田三隈高校）



アジアジュニア日本代表選手（前列左から高野選手（日田三隈高校）、吉田選手（若狭高校）、横田選手（唐津東高校）、後列左から野村選手（美方高校）、瀬戸選手（美方高校）、久保選手（保谷高校）